

高品質のおいしいお茶づくりを目指して！ 町荒茶品評会

5月24日、町荒茶品評会が町商工会会議室で開催され17点が出品されました。

この荒茶品評会は、良質茶生産及び荒茶製造技術向上のためにおこなわれているもので、当日は川薩農業改良普及センターの職員2名により外観、香気、水色、滋味について200点満点で採点されました。

審査に当たった川薩農業改良普及センターの長ヶ原さんは講評の中で、「とても高品質のお茶ばかりで南薩の茶と比較しても甲乙付け難い。ただ収穫時期の関係で価格が伸びないことが今後の課題です。」と話されました。

〔審査結果〕

最優秀賞	尾辻成良さん（広橋）
優秀賞	原口實輝さん（吉川）
優良賞	有川勇二さん（熊田）



▲審査の様相

消費者においしい梅を 青梅出荷式

6月3日、宮之城町佐志のJAさつま野菜集出荷所で青梅出荷式が開催されました。

当日は朝早くから、収穫されたばかりの青梅が集出荷所に持ち込まれ、出来の良い青梅に生産者同士の会話もはずんでいました。

出荷式では、梅振興会長の市山さんが「今年も出荷の時期となりました。薩摩町が産地として発展するようまた、梅産業がますます盛んになるよう期待しています。」また山口町長が「梅を植えて今年で14年になります。これは生産者の皆さんにがんばっていただいた結果です。今後も消費者に喜んでもらえる梅を作りましょう。」とあいさつしました。

青梅の出荷は6月3日から約2週間、L玉と2L玉合わせて100トン程度を予定しており、主に生協や農協系スーパー等に出荷されます。



▲出荷式でテーブルカットをおこなう関係者

びっくり箱



〔作文〕

モトクロスの思い出

永野小五年 内山千恵子さん
宿泊学習の三日目の午前中に自転車モトクロスをしました。まず、サポーターとヘルメットをして練習をしました。ちよこつとは、進んだので少し自信ができました。いよいよコースにちよこつ戦です。初心者コースは、最初の坂が難しかったけど、後はだいたいできました。次に上級者コースは、長い階段が難しかったけど、後はだんだんできてきて終わりにしました。こんなのは、初めてだったけどできたのでうれしかったし、楽しかったです。

宿泊学習の思い出

永野小五年 坂元南月さん
朝のつどいの一日前、一緒の部屋の友達たちと一日反省を書きながら、紹介する言葉を考えていました。紹介する日、みんなに一回見てもらって本番でした。声はふるえて

いたけれど、みんなと考えてがんばったからとちゅうから、自信を持って言えました。これは、何よりも一番の思い出になりました。

〔俳句〕

永野小六年 村上大地君
つゆがきた
かえるゲコゲコ
音楽隊



永野小六年 米丸耕平君
まん月の
夜に虫取り
取りやすい

永野小六年 新地さやかさん
春の家
夕日がさして
きもちいい

永野小六年 下築由美さん
すみれ草
人につまれて
かわいそう